

TAY TWO



2012年10月16日

株式会社テイツー (JASDAQ 7610)

2013年2月期 第2四半期 決算説明会資料



<http://www.tay2.co.jp>

**2013年2月期 第2四半期累計期間
決算説明**

及び

2013年2月期 通期業績予想

2013年2月期 第2四半期累計期間 業績サマリー

● 比較損益計算書(個別)

(単位:百万円)	2012年2月期 2Q累計期間	2013年2月期 2Q累計期間	増 減
売上高	16,769	16,051	△717
営業利益	272	442	+169
経常利益	281	454	+173
税引前純利益	△185	444	+630
法人税等	△45	215	+261
四半期純利益	△140	228	+368

アイ・カフェ事業売却の影響額
△863百万円

経営効率向上による営業利益
・経常利益の増加

税前純利益・四半期純利益の
黒字転換

● 比較貸借対照表(個別)

(単位:百万円)	2012年2月末	2012年8月末	増 減
流動資産	7,852	7,935	+83
固定資産	4,367	4,278	△89
総資産	12,220	12,214	△5
負債	6,853	6,684	△169
純資産	5,366	5,529	+163
負債純資産合計	12,220	12,214	△5

経営効率向上

→ オペレーション改善による
店舗運営効率の向上
間接部門の費用削減

税前・四半期純利益の黒字化

→ 前期に発生した資産除去
債務の過年度分一括償却
といった特殊要因が消滅

2013年2月期 第2四半期累計期間 比較損益計算書

(単位:百万円)	個 別		増 減	
	2012年2月期 2Q累計期間	2013年2月期 2Q累計期間	増減額	増減率
売上高	16,769	16,051	△717	△4.3%
売上原価	12,037	11,340	△697	△5.8%
売上原価率	71.8%	70.6%		
売上総利益	4,731	4,711	△20	△0.4%
売上総利益率	28.2%	29.4%		
販売費及び一般管理費	4,459	4,269	△189	△4.3%
販管費比率	26.6%	26.6%		
営業利益	272	442	+169	+62.3%
営業利益率	1.6%	2.8%		
経常利益	281	454	+173	+61.6%
経常利益率	1.7%	2.8%		
四半期純利益	△140	228	+368	黒字転換
四半期純利益率	△0.8%	1.4%		
1株当たり四半期純利益	△270円	441円		
1株当たり中間配当金	110円	110円		

2013年2月期 第2四半期 貸借対照表【個別】

(単位:百万円)	2012/2末		2012/8末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	7,852	64.3%	7,935	65.0%	83
現預金	2,612	21.4%	3,351	27.4%	739
売掛金	300	2.5%	298	2.4%	△2
商品	3,907	32.0%	3,562	29.2%	△345
貯蔵品	23	0.2%	29	0.2%	6
その他	1,008	8.3%	693	5.7%	△315
固定資産	4,367	35.7%	4,278	35.0%	△89
有形固定資産	1,558	12.8%	1,455	11.9%	△103
建物及び構築物(純額)	853	7.0%	810	6.6%	△42
その他(純額)	704	5.8%	644	5.3%	△60
無形固定資産	284	2.3%	240	2.0%	△43
投資その他の資産	2,525	20.7%	2,582	21.1%	57
差入保証金	1,262	10.3%	1,254	10.3%	△8
その他	1,262	10.3%	1,328	10.9%	65
総資産	12,220	100.0%	12,214	100.0%	△5

(単位:百万円)	2012/2末		2012/8末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
負債合計	6,853	56.1%	6,684	54.7%	△169
流動負債	3,423	28.0%	3,181	26.0%	△242
買掛金	893	7.3%	953	7.8%	59
短期借入金	750	6.1%	300	2.5%	△450
1年内長期借入金	781	6.4%	682	5.6%	△99
その他	998	8.2%	1,245	10.2%	247
固定負債	3,429	28.1%	3,502	28.7%	73
長期借入金	2,255	18.5%	2,454	20.1%	199
資産除去債務	406	3.3%	401	3.3%	△5
その他	767	6.3%	647	5.3%	△120
純資産	5,366	43.9%	5,529	45.3%	163
株主資本	5,359	43.9%	5,531	45.3%	171
評価・換算差額等	△0	△0.0%	△3	△0.0%	△2
新株予約権	7	0.1%	2	0.0%	△5
負債純資産合計	12,220	100.0%	12,214	100.0%	△5

2013年2月期 第2四半期累計期間 キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2012/2期 2Q累計 (11/3~11/8)	2013/2期 2Q累計 (12/3~12/8)
営業キャッシュ・フロー	102	1,140
投資キャッシュ・フロー	△20	△204
財務キャッシュ・フロー	△555	△496
現金及び現金同等物の換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額	△473	439
現金及び現金同等物	894	3,268

営業CFの内訳 (単位:百万円)

	2012/2期 2Q累計 (11/3~11/8)	2013/2期 2Q累計 (12/3~12/8)
税引前四半期純利益	△185	444
減価償却費	291	236
たな卸資産増減額	9	338
仕入債務増減額	△310	59
資産除去債務	341	—
その他	225	△56
小計	370	1,022
法人税支払等	△267	117
営業CF計	102	1,140

○営業キャッシュフロー

●税引前四半期純利益の増加、たな卸資産の減少、税金費用の軽減などにより、大幅プラス

○投資キャッシュフロー

●新規出店の費用等により、マイナス

○財務キャッシュフロー

●短期借入金の返済、配当金の支払い等により、マイナス

2013年2月期 第2四半期累計期間の状況

○ 売上高の状況

前年同期比での減収は、前期のアイ・カフェ事業の分割・事業譲渡が主因。
マルチパッケージ販売事業については、ほぼ前期並みの売上高を達成。

- 1Qに引き続き、リアル店舗部門においては、新品・リサイクル品ともにゲームソフトが好調に推移。また、ゲーム機本体も好調。
当期2Q内の主な新作タイトル 「3DS New・スーパーマリオブラザーズ・2」「Wii ドラゴンクエストX 目覚めし五つの種族」
「DS ポケットモンスター ブラック2・ホワイト2」など
ゲーム機本体 「3DS」「PS Vita」「3DS LL(7月発売)」など
- EC部門についても、引き続き順調に推移。

○ 利益の状況

前年同期比で減収とはなかったものの、営業利益・経常利益は増加。四半期純利益は黒字転換。

- 前年同期比で減収とはなかったものの、売上総利益はほぼ前期並みを維持。
- 販管費が前年同期比で大きく減少したことにより、営業利益・経常利益が大幅に増加。(⇒ P.15にて詳細説明)
- 前期の資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う過年度分償却のような特殊要因もなく、四半期純利益は黒字転換。

○ 出店の状況

当期より新規出店戦略を再開 (⇒ P.12にて詳細説明)

- 当社独自のゲーム専門パッケージ店舗である3Bee(スリービー)第1号店を神奈川県藤沢市に出店(1Q期間内)。
- TSUTAYA単独店を2店舗出店(1Q期間内)

2013年2月期業績予想

(単位:百万円)	2012年2月期 実績		2013年2月期 計画		前期比	
					増減額	増減率
売上高	36,188	100%	36,000	100%	△188	△0.5%
営業利益	740	2.0%	800	2.2%	59	7.5%
経常利益	739	2.0%	800	2.2%	60	7.6%
当期純利益	△19	△0.1%	430	1.2%	449	-
EPS	△37円		830円			

利益配分に関する基本方針

- ① 業績に応じた配当の実施(配当性向25%以上) ② 将来の事業展開に備えた内部留保の充実

配当性向の実績と計画

	第18期(実績) 2007/3-2008/2	第19期(実績) 2008/3-2009/2	第20期(実績) 2009/3-2010/2	第21期(実績) 2010/3-2011/2	第22期(実績) 2011/3-2012/2	第23期(計画) 2012/3-2013/2
当期純利益	634百万円	138百万円	741百万円	387百万円	△19百万円	430百万円
配当金	131百万円	130百万円	153百万円	134百万円	113百万円	113百万円
配当性向	20.8%	94.7%	20.7%	34.7%	-	26.5%

※21期までは連結当期純利益および連結配当性向

2013年2月期

下期に向けた施策・戦略

Reset Everything ~ テイツーは変わります

既存事業の状況

2Qにおいても、古本市場等のリアル店舗は堅調に推移。EC売上高は大幅に増加。

売上高の状況（前年同期比）

	2013/2期 1Q	6月	7月	8月	2013/2期 2Q
リアル店舗					
既存店	99.0%	107.1%	98.4%	95.7%	100.0%
全店	98.5%	106.9%	98.9%	95.0%	99.9%
EC					
EC	140.2%	145.2%	164.6%	156.3%	154.9%

- 当期2Qまでは、ほぼ計画通りに売上高は順調に推移。
- 業務の効率化・収益性の向上に向けたローコスト・オペレーションへの取り組みについても、期初の目標を達成。
- 結果、営業利益・経常利益ともに、期初計画を上回る業績を達成。
- 上期の好調を維持し、さらに来期以降の成長を目指すため、当下期より次ページ以降の戦略を実施。

既存事業の強化に向けた投資

上期の業績好調分を、当下期では来期以降の収益に資する戦略投資へと充てる。

既存事業の強化に向けた新規投資の実施

新規出店

来期以降の売上高の拡大に向けて、当下期より、新規出店を積極化。

既存店強化

収益力強化に向け店舗改装等の投資を実施。

新規商材の売り場拡大などへ重点的に投資。

新規商材

古本・ゲームに続く新たな商材の導入と強化を行う。

既存店の収益力の更なる向上を図る。

短期的な業績の向上だけではなく中長期の成長を目指す経営戦略を実施。

当下期からは、既存事業の強化に向けた戦略的な投資を実施。

ローコスト・オペレーション

業務の効率化、ローコスト・オペレーションの推進により、販管費を大きく低減し、利益率の向上を図る。

新規出店の積極化

既存事業の更なる成長を目指すため、当下期より新規出店を積極化。

	12/2期末	13/2期 1Q末	6月	7月	8月
古本市場直営店	100	99	98	97	97
古本市場業務提携・FC店	10	10	10	10	10
ブック・スクウェア	3	3	3	3	3
3Bee	—	1	1	1	1
TSTAYA(単独店)	—	2	2	2	2
Family Mart	2	2	2	2	2
合計	115	117	116	115	115

13/2期 下期～

新規出店を積極化

上期は3店舗の新規出店



3Bee村岡店



TSUTAYA横須賀堀ノ内店



TSUTAYA衣笠店

下期は6店舗を出店(予定)

- 古本市場系 4店舗
 新期出店 2店舗
 店舗移転 2店舗
- TSUTAYA系 2店舗

既存店強化・新規商材 トレカの拡販

トレカの拡販により、ゲーム・古本に続く第3の柱へ。

現在のトレカ市場は1000億を超える規模まで成長。ゲーム・古本と並ぶ第3の柱になる可能性を秘めた商材として、拡販に向けた取り組みを強化。

トレカパーク トレカ買取・販売
無料デュエルスペース完備

① 商品スペースの改装

拡販に向けて、売り場面積を拡大。
整然と陳列されたショーケースで見易さ・買い易さを追求した商品陳列を実施。



② デュエルスペースの設置

大人数での大会にも対応できる大型のデュエルスペースを設置。



←商品スペース ↑デュエルスペース

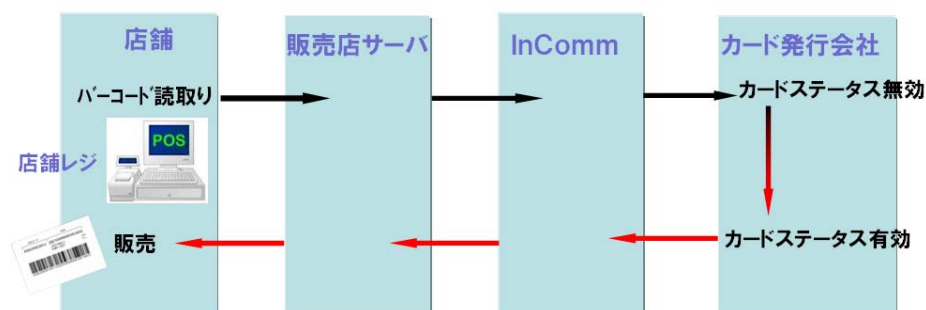
既存店強化・新規商材 POSAシステムの導入・その他

さらなる売上増を目指し、POSAシステム・その他の新規商材を導入。

オンライン販売の利用者増加を受け、インコム・ジャパンの
POSA技術(InComm's Fast Card Point of Sales Activation)の導入を開始。

① POSAシステム導入のメリット

- ・専用プリペイドカードの販売拡充のため、ラインナップの充実ができる。
- ・在庫負担がかからない。



② 取り扱いカードラインナップ

- ・ニンテンドー プリペイドカード
- ・ニンテンドー3DSソフト ダウンロードカード
- ・プレイステーションネットワークカード
- ・iTunes Cardなど



トレカ、POSAシステムの他にも、既存店強化に向けて、文具や雑貨等の新規商材を投入。

ローコスト・オペレーション

業務の効率化、ローコスト・オペレーションにより、販管費を大きく低減。

将来の成長に向けた事業への投資は行いつつも、管理コストを大きく低減。

(単位:百万円)	2012/2期 2Q	2013/2期 2Q	増減
全社販管費	4,459	4,269	△190
営業部門	3,847	3,796	△51
間接部門	537	455	△82
その他	75	18	△57

間接部門に関する販管費が前年同期比で大きく減少

➡ アイ・カフェ部門の事業譲渡の影響を除いても、業務の効率化により経営コストが低下。

(単位:百万円)	2012/2期 2Q	2013/2期 2Q	増減
間接部門販管費	537	455	△82
役員関係	75	60	△15
役員関係除く	462	395	△67
経営企画	121	137	+16
管理部門	341	258	△83

役員関係の費用が減少

その他間接部門にしても前年同期比で大きく減少

➡ 経営企画の費用増は、新規事業に関するもの。先行投資を行いつつも、全体コストを低下させる費用コントロールを実施。



TAY TWO

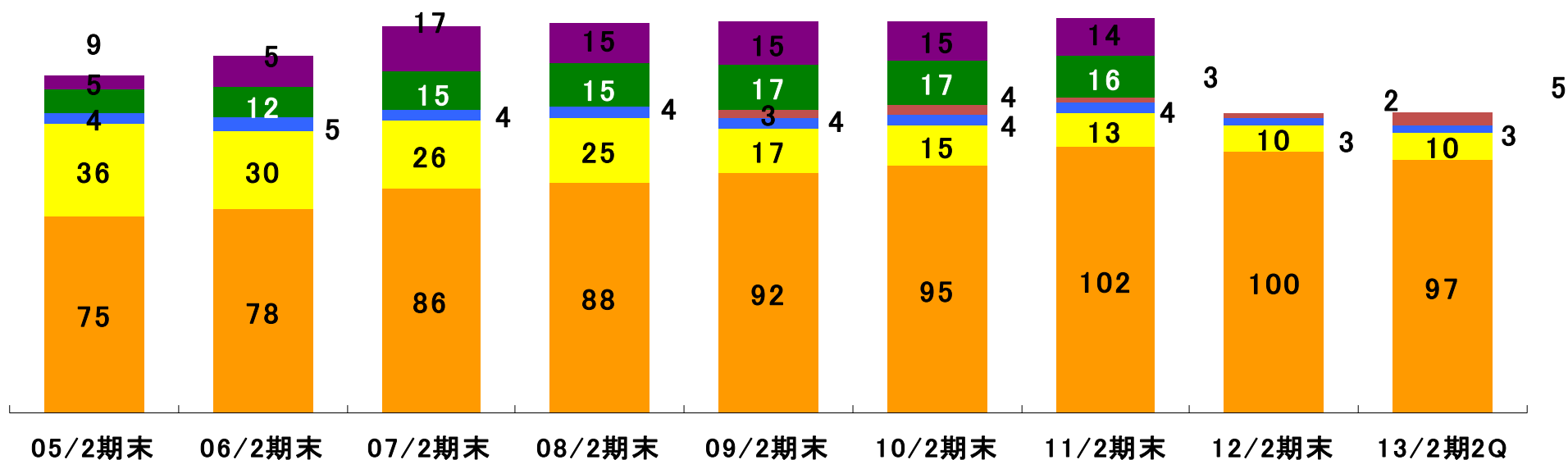
參考資料

会社概要

社名	株式会社テイツー（英訳名 TAY TWO CO.,LTD.）
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日：JASDAQ
本社	岡山県岡山市北区今村650番111
東京本部	東京都品川区西五反田7-1-1住友五反田ビル5F、6F
代表者	代表取締役社長 堀 久志
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取 及びビデオレンタル業務、コンビニエンスストア「Family Mart」の運営 2.インターネットサイト「furu1online」の運営
従業員数	正社員 381人、パート・アルバイト 1,289人 計1,670人(2012年9月末現在)
資本金	1,165百万円(2012年9月末現在)
発行済株式数	526,400株：単元株制度なし(2012年9月末現在)
株主数	5,740名(2012年8月末現在)

〔ご参考〕 2013年2月期 第2四半期 店舗の状況

■ 古本市場 直営店
 ■ 古本市場業務提携・FC店
 ■ ブック・スクウェア直営店
 ■ その他
 ■ アイ・カフェ直営店
 ■ アイ・カフェFC店



	2012/2期	2013/2期 2Q			増減数
	期末	出店	退店	期末	
古本市場直営店	100		△ 3	97	△ 3
古本市場業務提携・FC店	10	—	—	10	—
ブック・スクウェア直営店	3	—	—	3	—
3Bee(スリービー)直営店	—	1	—	1	1
TSUTAYA(単独店)	—	2	—	2	2
Family Mart	2	—	—	2	—
合計	115	3	△ 3	115	—

More Friendly 

～もっと親しみやすく～

本資料は、2013年2月期第2四半期の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2012年10月16日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口：経営企画部 荒井、藤巻、中村
TEL：03-5719-4775 FAX：03-5719-4583
E-mail：ir@tay2.co.jp

URL: <http://www.tay2.co.jp>